

令和2年度第1回健康づくり推進協議会会議録

1. 審議会等の名称 嘉麻市健康づくり推進協議会
2. 開催日時 令和2年7月30日(木) 13時30分～14時30分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階会議室A・B
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
出席：岩見委員、後藤委員、坂本委員、福澤委員、端山委員、田淵委員、赤間委員、辻田委員
砂田委員、末吉委員、又吉委員
欠席：川浪委員
 - (2) 執行機関
福祉事務所長兼健康課長、子育て支援課長、 子育て支援課長補佐、健康課係長、子育て支援課係長
職員4名(井口、高岩、閨野、久芳)
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 無し
8. 議題及び審議の内容
 - (1) 委嘱書交付
 - (2) 市長挨拶
 - (3) 委員の自己紹介
 - (4) 事務局紹介
 - (5) 会長・副会長選出 会長：坂本委員 副会長：岩見委員
 - (6) 議事
 - (ア) 保健事業実績及び計画について
 - ①子育て支援課母子保健係：P6～P14説明
(質疑) 特になし
 - ②子育て支援課発達相談支援係：P14～P18説明
(意見) 3年前に福岡市の障がい児支援センターを視察に行った。そこはすごい体制だったが、福岡市しかやっていないということだったが、嘉麻市がそれに代わる事業をやっているということで安心しました。
(質問) 今年度は新型コロナ対策で、実施が難しい事業もありますよね？
(回答) 小集団の教室については、密になる可能性があるため実施ができていないが、個別に関しては、多くても4人程度なので、消毒を徹底して継続して実施しています。
 - ③予防接種事業：母子保健係P18～P22説明
(追加説明) 情報提供
○麻しんの予防接種の助成事業
児童福祉施設の職員の方で麻しんの予防接種をされた方に対する助成事業を今年

度実施するが、実施時期は検討中です。

○造血細胞移植後の予防接種再接種助成事業

造血細胞移植後は免疫がリセットされるので予防接種再接種が必要になる。

再接種される際の一部または全額を助成する。

今年度7月から実施。ホームページでお知らせ 申請をしていただいて許可が出てからの接種。

(質問) 昔からみとみると予防接種の種類がかなり変わってきている。ここにあげてある予防接種はすべてしなければならぬ予防接種か？

(説明) すべて実施していただきたいところですが、子宮頸がんワクチンについては、当初は積極的に勧奨する予防接種だったが、ワクチンの接種により副反応が出たケースがあり、今は勧奨をせず、希望者のみになっている。

その他については、ワクチン接種をすることで免疫がつきますので、是非、接種はお願いしたい。

(質問) 風しん追加的対策は男性のみが対象ですか？

(説明) 男性のみです。男性の対象年齢の世代は、風しんの予防接種を公費で受けられる機会がなかったため、今回追加的対策として実施しています。

③健康推進係事業：P 2 3～P 5 5 説明

(意見) 10年間の保健計画策定時の時に意見を出させていただいて、計画の中にも入れ込んでいただいたひきこもりの件ですが、筑豊の方にも相談センターが設置された。嘉麻市においてもひきこもり年齢が上がってきている。講演の中で年齢が上がっていくほどひきこもりの場合、幼児化が進んでいくといったこと聞いたことがある。嘉麻市でひきこもりの把握し、相談センターへ繋げていってほしい。

ひきこもりは、なかなか会えない、電話でも話ができないので本人と接触することが困難ですが、生活保護課のCWや関係機関から情報を収集して、連携をしながら対応をしていっていただければと思う。

(説明) なかなかひきこもりについてはSOSが発信されないと把握が困難であることが現状ですが、自殺対策連携協議会等発足されているので、いろんな関係機関と連携しながら、情報を交換して対応をしていく。

(意見) 医療機関受診中の方の中にも、心配な事例もある。家族の同意が得れたなら是非、相談をさせていただきたい。

(質問) 特定健診について、コロナにより1波の際に特定健診の実施見送られた時期があった。今、拡大をしている状況の中でどういう状況になれば、また、実施について見送りといったことになるのだろうか？

(説明) 特定健診の実施については市民課が担当しているが、医師会と2市1町で協議をしながら決定をしていくことになる。第1波の際は、緊急事態宣言が出されており、県から文書で指示があった。今回も、そういった情報があれば、検討をしていく可能性はある。

嘉麻市においては、6月から集団検診も日程を減らし、受付時間を区切らせていただき実施をしている。

(イ) その他 健康課より健康ポイントについて説明

今年度は福岡県の健康アプリも活用し実施していく。